

# 平成24年度 予算と重点事業

## 【基本方針】

幸手市社会福祉協議会が昭和63年に法人化され24年目となります。

これまで、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指して、地域福祉活動の推進役「担い手」として各事業に取り組んでまいりました。

しかし、昨年甚大な被害を及ぼした東日本大震災の影響や非常に厳しい社会経済状況も続き、皆さんの暮らしなどにも深刻な生活不安を及ぼしているのが現状であります。

一方、一人ひとりが、自らの住む地域について見つめ直し、地域を支える一員としてコミュニティの再構築のために地域活動に参画する動きが見られるなど、「地域力」への関心が高まってきています。

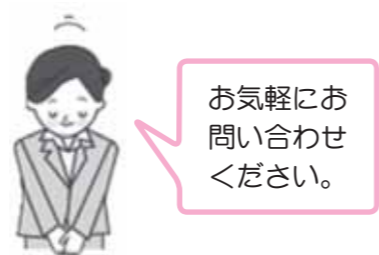
このような中、本会は地域福祉活動の推進役として、市民の福祉ニーズに立脚した福祉事業の展開や住民参加による地域福祉活動の高揚を図るとともに、福祉サービスを必要とする人々が安心して生活できる福祉コミュニティづくりを推進し、さまざまな生活課題について住民・福祉団体・福祉施設関係者などが、それぞれの役割の中で、お互いに力を合わせる関係をつくり、住民のボランティアパワー、関係諸団体の活動、公的サービスの連携の下で、住民一人ひとりの努力（自助）、住民同士の相互扶助（共助）、公的な制度（公助）の強化を図りながら、各事業に取り組んでまいります。

## 傾聴ボランティア訪問事業の実施

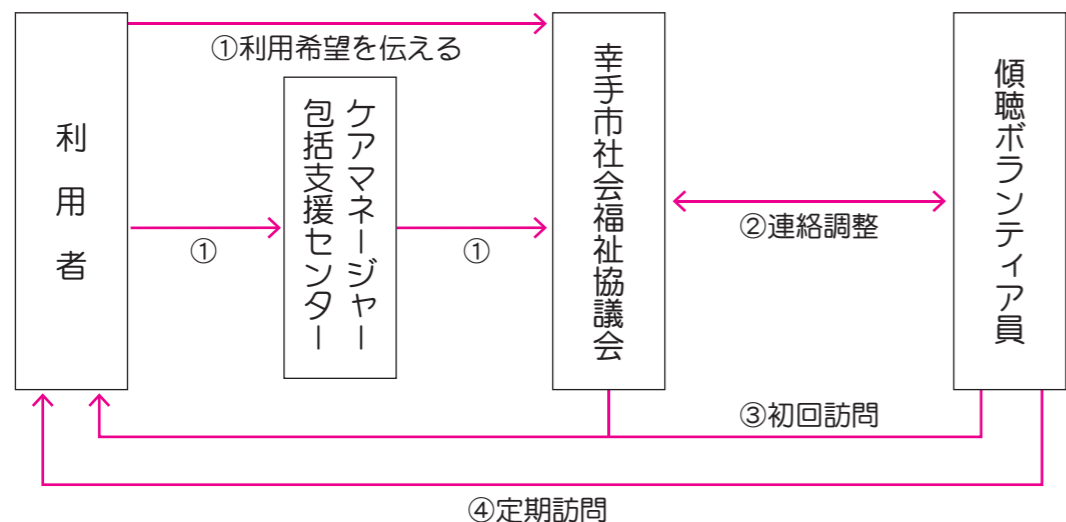
平成24年度から、社会福祉法人幸手市社会福祉協議会が幸手傾聴ボランティア「ピース」と共催し、高齢者の心の健康増進や見守り活動等、地域ケアの推進と福祉の向上を図ることを目的とした「傾聴ボランティア訪問事業」を実施します。

### 【対象となる方】

市内に在住するひとり暮らしの高齢者または高齢者世帯で傾聴ボランティア訪問事業を受けることにより、利用者の日常生活に向上が見込まれると思われる方。



### 【訪問事業実施までの流れ】



幸手市社会福祉協議会  
事務局長就任にあたり

事務局長 真中一夫

この度、4月1日から幸手市社会福祉協議会事務局長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。私は、幸手市役所勤務において、過去に福祉課福祉係長として福祉行政に昭和61年から4年間の勤務経験があります。当時幸手町が、10月1日に市制施行をした年でもあり、福祉事務所として県から多種の事務移管が行われ、複雑な時期として思い起こされます。

現在ウエルス幸手内に福祉行政が集約され、社会福祉協議会も同施設に設置されており、社会福祉協議会は、子供から高齢者に至るまで誰もが安心して暮らせるよう、市の行政施策だけではカバーする事出来ないきめ細かなニーズにも対応できるよう、社会福祉法に位置づけられている民間団体です。今後とも、地域の皆様や民生委員・児童委員、社会福祉関係者、保健・医療・教育などの関係機関の参加・協力のもと、地域の人々が住み慣れたまちで安心して生活することを目指す「福祉のまちづくり」を目指してまいりますので、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 一般会計

### 収入内訳

	(単位:円)
補助金収入	32,656,000
会費収入	6,480,000
共同募金配分金収入	5,231,000
寄付金収入	2,000,000
積立預金取崩収入	1,700,000
前期末支払資金残高	1,298,000
事業収入	782,000
受託金収入	654,000
貸付事業等収入	600,000
雑収入	715,000
受取利息配当金収入	26,000
負担金収入	5,000
<b>合計</b>	<b>52,147,000</b>

### 経理区分別支出内訳

	(単位:円)
法人運営事業	42,074,000
共同募金配分金事業	6,352,000
ボランティア・市民活動センター事業	1,164,000
福祉資金貸付事業	790,000
福祉サービス利用援助事業	603,000
配食サービス事業	446,000
家事援助サービス事業	329,000
生活福祉資金貸付事業	221,000
心配ごと相談事業	168,000
<b>合計</b>	<b>52,147,000</b>

## 特別会計

### 収入内訳

	(単位:円)
自立支援費収入	53,861,000
受託金収入	18,000,000
就労支援事業収入	3,050,000
利用料収入	935,000
雑収入	420,000
<b>合計</b>	<b>76,266,000</b>

### 経理区分別支出内訳

	(単位:円)
さくらの里	36,284,000
なのはなの里	39,982,000
<b>合計</b>	<b>76,266,000</b>